

ともすれば、英会話に係る能力や、英会話教育が何か神秘的なもののように誤解されます。この傾向は、幼い子供たちに対して更に強くなります。確かに幼い子供たちは大人に比べると音声や、音楽で言う音階に関して感度が高いことは間違いありません。それは様々な実験で証明されております。私自身も長く英語教育に携わっており、そのようなことを経験を通じて実感しております。

「音に対する感度」の高さは事実ではありますが、それはただの事実であって、そこに神秘性はありません。逆に子供たちは大人に比べ論理的思考が苦手です。これも子供たちの能力です。物事を論理的に理解できない、あるいは記憶できないということは、記憶力に直結します。つまり、覚えたことを、年上の人間に比べると忘れてしまうことが早いのです。現に、現地にいる間は英語をぺらぺらにしゃべっていた子供が、日本に帰国すると3カ月から半年で綺麗に英語を忘れてしまいます。帰国時のその子の年齢が低いほどこの傾向は顕著です。本当は、綺麗さっぱり英語を忘れてしまうわけではないのですが、表面的にはそのように見えます。実は、身体が英語を覚えています。なので、その後の英語教育の与え方により、その能力を引き出すことができます。やはりここにも何の神秘性もありません。脳科学的な事実です。一度自転車の乗り方を覚えた方は20年や30年自転車に乗らなくても、自転車に乗ることができます。自転車に関する交通法規は忘れてしまうかもしれませんが。帰国子女の子供たちの能力も同じようなものだと考えていただければよいのです。

一方、小学校1、2年で学校で習ったことを殆ど覚えているなんて方は、非常に珍しいのではないかと思います。皆さんはいかがですか？これも事実です。

上記の事柄から何が言えますか？そうです。幼い子供たちへの知識教育は無駄になることが多いのです。「知識教育」は、です。ただし、平仮名、片仮名、漢字のように繰り返し習い続けるものは、知識教育ですが忘れ去られることはないのです。英語教室としては、ここに書かれていることを全く意識せずにそれなりの授業料をいただきつつ授業を行うわけにはいかないですね。

J's クラブ 大槻

今日のテーマ Classroom English (教室英語)

Words

chair, desk, crayon, pencil, etc.

英語表現

Here you are. Thank you.

TPR

Stand up. Sit down. Make 2 lines. Make a circle. Raise your hand. Lower your hand.

